



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 雫石 隆子

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

芸術祭の共催、8団体に拡大 仙台市市民文化事業団が参加 26年ぶり、運営基盤より強固に

元号が改まって初めてとなる本年度開催の基幹事業、第56回宮城県芸術祭の運営基盤がより強化される。公益財団法人仙台市市民文化事業団が新たに主催に加わることになり、共催団体

が従来の7から8に拡充するた
めだ。芸術祭を共に主催する団
体が増えるのは公益財団法人宮
城県文化振興財団以来、26年ぶ
り。同事業団は芸術祭の展示や
舞台発表の大半の会場となつて
いる仙台市内の文化施設を管理
し、多彩な催事を企画運営して
いる法人。芸術祭のさらなる発
展に向けて心強い「援軍」で、
事業の一層の盛り上げに期待が
膨らむ。

芸術祭の主催団体は現在、当
協会のほか、宮城県、仙台市、
河北新報社、宮城県教委、仙台
市教委、県文化振興財団の計7
団体。昭和43年に県教委と市教
委、44年に河北新報社、46年に
宮城県、62年に仙台市、平成5
年に県文化振興財団が加わつ
た。昭和、平成、令和と着実に
基盤を整えてきている。

今回の市市民文化事業団につ
いては、催事会場の主な施設を
所管する深い縁でつながり、文

化事業に関する企画・実施の経
験、知見も豊富。県文化振興財
団と双壁の事業団が共催の輪に
加わることで、芸術祭運営の安
定感が増すとの見地から、当協

会が協力を申し入れた。
参加の要請は1月11日、雫石
隆子理事長が同事業団事務所を
訪れ実施。大越裕光同事業団理
事長に直接要望書を手渡し、意
図や必要性を説明した。事業団
は後日、受け入れを決め、その
旨、回答した。

実、活発化に向けて重要な役割
を担ってもらおう。展示やコン
クールにおける「事業団賞」の
創設、提供に際しても応諾を確
認。具体的な対応については今
後、当協会と調整する。

宮城県芸術祭委員会には大越
理事長が副会長、同事業団の遠
藤芳純事務局長が委員として加
わる方向で、芸術祭の一層の充

くの実績を誇る事業団。振興策
のありようを知り抜き、その方
面の情報センターとも言えるだ
けに、有形・無形の大きな力と
なるに違いない。

宮城県芸術協会の2019(令
和元)年度定時総会は6月8日
(土)の午後2時40分から、仙
台市青葉区五橋の仙台福祉プラ
ザで開かれる。平成30年度事業
報告及び決算が主な議題。理事
会の議決案件である本年度の事
業計画と収支予算などについて
報告を行い、改元後初めてとな
る「第56回宮城県芸術祭」に向け
て、各部の諸準備が本格化する。
本年度事業計画の概要は4、
5面の通り。宮城県芸術祭は運
営基盤を強化しての事業展開と
なる。

元号が改まり、当協会が抱え
る課題も鮮明になる転換期の芸
術祭は、記念すべき体制により
新たな船出を飾る。

6月8日に定時総会
改元後初、「文化の時代」へ挑戦

(世)代」とともに、新たな「時
代」の到来を意識し設定した。
テーマイベントは開会式の
翌々日、22日(日)に一階オー
プンスクエアで行う。各部のコ
ラボレーションを原則に掲げ、

芸術祭は9月20日(金)、せ
んだいメディアテークで開会式
を実施する。本年度の統一テー
マとして「結い〜次代へ〜」を
掲示。「結い」に込めた理念を
踏襲、芸術文化を受け渡す「次
事業担当執行理事を中心に、そ
の内容を練り上げていく。
本年度の予算は5面に示して
いる。共催金が減るなど経常収
益が落ち込み、予算編成は例年
以上に難航。各部の予算要求を
めぐり、ヒアリングを実施する
など、内容の精査に努め、効率
的な事業執行に協力を求めた。
芸術を含めた文化が重要性を
増す時代。同時に会員の高齢化
等の進行を受け、先行きの不透
明感が漂う状況にもある。総会
に集い、掲げた芸術文化振興の
使命の達成に向けて、それぞれ
が担う役割を確かめ合いたい。
総会に先立って、恒例の記念
講演会(詳細は2面)も予定し
ている。

河北新報社と覚書締結 公募展の発展に向けて連携確認

当協会は4月15日付で河北新報社と「連携公募展実施に向けての覚書」を締結した。

魅力ある公募展に育て、さらなる地域の芸術振興に貢献するとの公募展の意義を高く掲げ、

連携して公募展の開催を継続し、一層の内容の充実、事業の発展に努める意思を改めて明確にするのが狙い。

開催の条件整備については、河北の事業連携提案の内容を前提としつつ、事業の円滑な開始と高度化に向けて最大限協力し

計画策定へ、準備本格化 工芸部門先行し、検討会議設置 河北との連携公募展

河北新報社提案による連携公募展の実施に向けた当協会内部の本格的な検討が始まった。事業計画をまとめる組織を、工芸部と写真部別々に設けることになり、先行する形で3月27日、「工芸部・河北連携公募展検討会議」を設置。2020年の開催を目指し、具体の協議に入った。写真連携公募展についても、本年度の早い段階で滑り出す予定で、共に継続性と発展性のある公募展の実現に取り組む。

連携事業の内容を固める作業は、工芸部と写真部推薦の会員と執行理事で構成する二つの検討会議と、方向がおおむね定まった状況を受けて両会議を一

連携して公募展の開催を継続し、一層の内容の充実、事業の発展に努める意思を改めて明確にするのが狙い。開催の条件整備については、河北の事業連携提案の内容を前提としつつ、事業の円滑な開始と高度化に向けて最大限協力し



合うことを確認。事業実施は2020年を目標とし、詳細な計画は今後、双方で構成する組織で協議し、決定するとした。覚書の締結により、宮城県芸術祭の共催団体として関係の深い両団体の緊密化に拍車がかかることになる。

検討会議は部推薦の9人と全執行理事の計15人で構成。執行理事を進行役に初会合Ⅱ写真Ⅱではまず、今後の協議の進め方を確認するとともに、出席者全員が発言し山積する諸課題を洗い出して、適切な対応に向けて土台となる認識の共有を図った。

会議は今後、月1回程度のペースで開く予定。必要に応じて、河北の事業担当者に同席を要請、説明を求め、後日、設置する写真部の検討会議も同じような手順を想定している。

検討会議は当面、夏を目標に議論を終了、事業計画の原案をまとめる。その上で、秋口を目安に実行委を開き、河北と考え方のすり合わせを行い、場合によっては細部を調整するなどして事業の実施計画(案)を決定する。その内容を12月の理事会に報告し、来年3月に承認を得

講師は大越裕光理事長 定時総会記念講演 「新時代の文化芸術振興」 テーマに所感

定時総会恒例の記念講演会は、6月8日午後1時30分から行われる。講師は公益財団法人仙台市民文化事業団理事長の大越裕光氏。本年度

の第56回宮城県芸術祭から主催団体に加わるのを機会に「新時代の文化芸術振興(仮題)」のテーマで一時間、話してもらおう。大越氏は文化施設の管理運営

に加え、芸術を柱とする仙台市の文化振興施策の立案、実施に関わる現場の最高責任者。前市教育長で当協会と関わりが深い教育分野の実情にも明るく、興味深い話が聞けそうだ。環境や情勢が変化する中、同じような目的を掲げる団体同士が連携を深めることは、効率的な事業運営の下で成果の最大化を図る鍵。会員多数の参加で、情報共有とともに一層の関係強化に向けた弾みにしたい。

る令和2年度の事業計画及び収支予算に反映させる。

単独主催から連携事業へ。長年の積み重ねで培った「河北工芸展」「河北写真展」の遺産を生かしながら、芸術文化団体と地元メディアが深いレベルで協力し合うことで、より質の高い公募展の実現を図りたい。併せて、当協会の存在感のアップ、使命である芸術文化の振興に努めたい。

芸文協「北斗43号」を発行

東北・北海道芸術文化団体協議会の機関誌「北斗43号」が2月28日付で発行された。編集・発行は福島県芸術文化団体連合

新運営委員

会が担当した。本号の特集テーマは「わが県・道における伝統芸術又は現代の芸術活動における次世代育成の取り組み」。当協会からは佐藤皖山執行理事が「宮城県における伝統芸術の現状と課題」と題し邦楽、特に三曲(箏、三絃、尺八)を中心に現状と課題、今後の発展方向について執筆した。

【書道部】阿部海鶴、熊谷鳳苑、佐々木香苑、高野博行【洋楽部】佐藤園子、寺澤絢子、松下麻奈美、最上陽子【邦楽部】杵屋和加富法【茶道部】近江宗恵、千葉宗泰

「和風文化祭」に参加へ

今秋、台湾・台南市で開催
宮城県に協力、芸術文化を紹介

当協会は今秋、台湾の台南市で開かれる「和風文化祭」に参加する方針を固めた。同市恒例の催事で本年度、宮城県を対象に広く日本文化を紹介することから、地元の芸術団体として県に協力することにした。昨年、韓国大邱の芸術文化団体との国際交流事業に区切りを付けており、今後の在り方を探る狙いもある。

和風文化祭への参加は、昨秋

の台湾研修旅行で、台南市台日友好交流協会の郭貞慧理事長と面会したことがきっかけ。開催主体となる同協会の郭理事長が2月に来仙した折、再び意見交換。県の担当者も同席し、事業の目的等について説明を受け、当協会が掲げる国際交流事業に位置付け得ると判断した。

具体的な派遣内容に関しては、今後、常任理事会等で協議し、要請する部、会員らともすり合わせを行った上で確定する。今秋の和風文化祭では「宮城の工芸」をメインに掲げており、工芸品の幅広い展示と、その代表として蔵王町のこけし工人（遠刈田）による制作の実演、民俗芸能として南三陸町の鹿踊り（県志津川高校の生徒ら）の披露が既に決まっている。

郭理事長は、工芸関係で「仙台ガラス」などに興味を示し、和を象徴する芸術として華道、茶道、日本舞踊の名を挙げ、県共々、幅を広げ迫力も増す当協会の参加に期待感を示した。派遣費用は基本的に各団体の負担となるため、当協会は厳しい財政事情を考慮し、派遣部門を調整。台南市の意向を踏まえつつ、県との協議を進め、具体の事業計画を固めていく。

県によると、開幕は10月12日になりそう。活動は土日に予定されているオーブニングイベントへの出演が中心となる。今回の参加は、今後の国際交流の方向を検討する機会となるほか、協会の運営基盤の維持強化との絡みで、往來の活発化による地域経済への貢献を期待する県、市との関係強化につながる意味合いもある。

「蔵王の音楽」大集合
みやぎミュージックフェスタ
芸術協会が共催、にぎやかに

「みやぎミュージックフェスタ2018 in ぎお」蔵王ふれあいコンサート」が2月3日、蔵王町ふるさと文化会館（ございんホール）で開かれ、多彩な音楽の共演で盛り上がった。

ミュージックフェスタは当協会の恒例事業の一つ。地元音楽サークルに協力する形で実行委員会を組織し、実施している。今回は蔵王の音楽サークルが「総出演」。地元の音楽愛好家ら約450人が足を運び、会場



フィナーレを飾る全員合唱

は外の寒さを吹き飛ばす熱気に包まれた。

プログラムは「蔵王の伝統」奏」など4部構成。子ども神楽、民謡、太鼓演奏からオカリ

ナ、大正琴、琴、クラシックギターの各サークルと芸協室内管弦楽団の共演、芸協洋楽部会員と蔵王在住の音楽家（会員）のクラボレーション、ミュージックフェスタ合唱団（ぎおう歌おう会、MY杜の混声合唱団）と管弦楽団の合唱曲披露まで盛りだくさん。最後は全員合唱で締めくくり、参加者は音楽の幅の広さ、楽しさを満喫した。

作家の変遷、鮮明に
芸協とカメイ美術館の共催展
作品解説やギャラリートークも

当協会とカメイ美術館の共催による美術展が1月29日～3月10日の会期で、仙台市青葉区五



絵画と洋楽が響き合う

橋のカメイ五橋ビル7階、カメイ美術館を会場に開かれた。

平成22年に始まった恒例の展覧会。今回は宮城県芸術協会絵画部門「現運営委員等の『現在と過去』Ⅲ期」と題し、昭和28年以降に生まれた21人と平成30

の素晴らしさを味わった。

若柳理事、教科書に掲載

当協会理事の若柳梅京氏（舞踊部）が学校図書発行の道徳教科書『輝け未来 中学校道徳1年』に掲載された。

「言葉の壁は日本舞踊で乗り越えた」と題し、異文化交流での伝統文化と触れる大切さを述べている。

若柳理事は「自国の文化に誇りを持ち、海外から尊敬される真の国際人を育てたい」とこれまでの活動の思いを語った。内容をご覧になりたい方は芸協事務局まで連絡を。

2019年度事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団と、本年度から新たに公益財団法人仙台市市民文化事業団を加えた8団体共催により、本年度で56回目となる宮城県芸術祭を開催する。本年度の統一テーマは「結い～次代へ～」。統一テーマによるテーマイベントを9月22日(日)にせんだいメディアテーク一階オープンスクエアを会場に開催する。芸術祭開催期間は9月20日(金)の開会式(会場：せんだいメディアテーク)から、11月26日(火)の表彰式(会場：ホテルメトロポリタン仙台)を経て、翌年3月8日(日)の音楽コンクール本選までの期間となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場
展示関係事業	華 道 展	9月20日(金)～9月25日(水)	せんだいメディアテーク5F
	書 道 展	9月20日(金)～9月25日(水)	せんだいメディアテーク5F・6F
	工 芸 展	9月27日(金)～10月2日(水)	せんだいメディアテーク5F
	写 真 展	9月27日(金)～10月2日(水)	せんだいメディアテーク5F
	彫 刻 展	9月27日(金)～10月2日(水)	せんだいメディアテーク6F
	絵 画 展	10月4日(金)～10月9日(水)	せんだいメディアテーク5F・6F
演奏関係事業	長 唄 演 奏 会	10月13日(日)	トークネットホール仙台
	音 楽 会	11月8日(金)	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文 学 散 歩	10月2日(水)～10月3日(木)	秋田方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日(火)	750部発行
	文 芸 祭	10月26日(土)	東京エレクトロンホール宮城
茶 会	茶 会	10月13日(日)・20日(日)・27日(日)	輪王寺
人材育成事業	写 真 公 募 展	9月27日(金)～10月2日(水)	せんだいメディアテーク5F
	絵 画 展(公募の部)	9月27日(金)～10月2日(水)	せんだいメディアテーク6F
	彫 刻 公 募 展	9月27日(金)～10月2日(水)	せんだいメディアテーク6F
	受賞者によるガラ・コンサート	9月29日(日)	日立システムズホール仙台
	第40回音楽コンクール 【ピアノ部門・ヴァイオリン部門】	予選：2月9日(日)	日立システムズホール仙台
		本選：3月8日(日)	
	写 真 セ ミ ナ ー	未定	未定

※展示関係事業：各展会期中にはギャラリートークや作品解説、作品制作の実演などを企画し、実施する。

※文芸関係事業：文芸祭では一般を対象として文芸作品を公募し、優秀な作品の発表、表彰等を行う。

※芸術祭参加行事：昨年と同様に第63回仙台三曲協会定期演奏会、第50回洋舞公演、歳末たすけ合い第57回各流舞踊大会を芸術祭参加行事とする。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会の提供及び、芸術文化に関する人材の育成と各分野の幅広い裾野拡大と普及啓発を図ることを目的とし、各事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
鑑賞機会提供事業	第56回 宮 城 県 芸 術 祭 絵 画 展 受 賞 者 作 品 展	12月13日(金)～19日(木)	東京エレクトロンホール宮城
	(カメイ美術館共催) 第11回 絵 画 作 品 展	1月～3月	カメイ美術館
	みやぎミュージックフェスタinしろいし	3月15日(日)	ホワイトキューブ
伝統文化体験事業	第23回 杜 の 都 大 茶 会	5月25日(土)・26日(日)	勾当台公園
人材育成事業	県 民 と の 美 術 交 流 ・ ギャラリートーク	10月5日(土)	せんだいメディアテーク
	書道部による県内小中 学校への講師派遣事業	11月～12月	県内小中学校
	(宮城県文化振興財団共催) 定禅寺フォトコンテスト	12月上旬	東京エレクトロンホール宮城
後 援 事 業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞品等を提供する。(平成30年度承認実績：75件)		

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流とを図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおりに実施する。なお、国際交流事業の一環として、10月中旬に台湾台南市で開催される和風文化祭に宮城県が参加することに対し、宮城県と連携を図り、協力することとする。

事業種別	事業名	期 日	会 場
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東北・北海道交流写真展	6月12日(水)～16日(日)	コラッセふくしま

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業：本年度担当幹事地区は福島県。

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する各研修事業と、協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物の刊行を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会（講師：大越 裕光 氏）	6月8日（土）	仙台市福祉プラザ
	絵画部スケッチ研修会	5月18日（土）・19日（日）	岩手県遠野・宮古方面
	第46回 研 修 旅 行	未定	未定
発 行	機関紙「はなやま」発行	年4回発行（5・7・11・1月）	

2019年度正味財産増減予算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
受取入金	0	0	0	800,000	800,000	0	800,000	1,600,000
受取会費	0	0	0	12,890,000	12,890,000	2,645,725	7,804,275	23,340,000
事業収益	7,959,000	116,000	0	0	8,075,000	3,383,000	0	11,458,000
受取補助金等	200,000	0	0	0	200,000	0	0	200,000
受取負担金	12,700,000	0	0	0	12,700,000	0	0	12,700,000
受取寄付金	131,000	0	0	0	131,000	0	0	131,000
雑収益	365,000	0	0	0	365,000	0	2,000	367,000
経常収益計	21,355,000	116,000	0	13,691,000	35,162,000	6,028,725	8,606,275	49,797,000
(2) 経常費用								
事業費	30,399,213	2,850,062	2,136,000	0	35,385,275	6,028,725	0	41,414,000
管理費	0	0	0	0	0	0	8,250,000	8,250,000
経常費用計	30,399,213	2,850,062	2,136,000	0	35,385,275	6,028,725	8,250,000	49,664,000
当期経常増減額	△9,044,213	△2,734,062	△2,136,000	13,691,000	△223,275	0	356,275	133,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	9,044,213	2,734,062	2,136,000	△13,558,000	356,275	0	△356,275	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	133,000	133,000	0	0	133,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	41,070,938	41,070,938	0	0	41,070,938
一般正味財産期末残高	0	0	0	41,203,938	41,203,938	0	0	41,203,938
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	100,000	0	0	0	100,000	0	0	100,000
指定正味財産期末残高	70,000	0	0	0	70,000	0	0	70,000
III 正味財産期末残高	70,000	0	0	41,203,938	41,273,938	0	0	41,273,938

公益目的事業会計事業費 (A)	〔全体〕経常費用計 (B)	公益目的事業比率 (A/B)
35,385,275	49,664,000	71%

2019年度新入正会員名簿

Table with columns: 部門 (Department), 氏名(本名) (Name), 住所 (Address). It lists members across various departments including 絵画部 (Painting), 洋楽部 (Western Music), 邦楽部 (Japanese Music), 演劇部 (Theater), 文芸部 (Literature), 工芸部 (Crafts), 書道部 (Calligraphy), and 華道部 (Floral Art).

ヴァイオリン部門 各クラス受賞者 (Violin Department Award Recipients). Table with columns: 級 (Grade), 賞名 (Award Name), 氏名 (Name). Lists winners for 初級 (Beginner), 中級 (Intermediate), and 上級 (Advanced) classes.

ピアノ部門 各クラス受賞者 (Piano Department Award Recipients). Table with columns: 級 (Grade), 賞名 (Award Name), 氏名 (Name). Lists winners for 初級A, 初級B, 中級A, 中級B, 上級A, and 上級B classes.

音楽コンクール 豊かな音色、入場者を魅了 (Music Competition: Rich Sound, Captivating the Audience). Text describing the 55th Miyagi Prefecture Music Festival and the performance of the 39th Miyagi Concert Hall.



賞状を授与する栗石理事長(中央)

企業アンケート設問・回答

問1 公益社団法人宮城県芸術協会をご存知ですか
1 知っている 41社
2 知らない 31社

問2 (問1で「知っている」と答えた企業に伺います)
お知りになったきっかけは何ですか
1 社員、知人らが協会の活動に関わっている 10社
2 芸術文化に関心があり、実際、宮城県芸術祭を鑑賞したことがある 3社
3 新聞、テレビ・ラジオ、雑誌等の報道・告知で知った 20社
4 (勤めている会社が)宮城県芸術協会の賛助会員になった 8社

問3 (問1で「知っている」と答えた企業に伺います)
どの程度、知っていますか
1 協会の名前を知っている程度にすぎない 26社
2 多少、活動の具体的な内容まで知っている 11社
3 取り組み全般、内容をかなり知っている 4社

問4 (問3で「多少」「取り組み全般」知っている)と
答えた企業に伺います) ご存知の内容、事業についてお
答えください(当てはまるものを全て)
1 毎年、宮城県芸術祭を主催(共催)している 9社
2 芸術祭の一端で各公募展や音楽コンクールなどを実施している 9社
3 作品展や音楽イベントの開催など県民に広く鑑賞機会を提供している 10社
4 社の箱の大茶会、各種セミナー、教育現場への会員講師派遣など芸術文化の普及振興に関する事業を主催、後援している 8社
5 韓国大邱市との相互訪問など国内外、芸術文化団体と交流を行っている 2社
6 その他(具体的に) 0社

問5 (問4で「芸術祭を主催(共催)している」と答えた
企業に伺います) 芸術祭の中身について、どの程度知っ
ていますか
1 鑑賞したことがあり、展示から舞台発表まで全体をおおむね知っている 3社
2 (絵画展、写真展など)一部門の開催について知っていること 4社
3 催事名を知っている程度で、詳しい内容までは知らない 6社

問6 (問1で「知らない」と答えた企業に伺います) 宮
城県芸術協会の名称や事業について、これまで新聞、雑誌
やテレビ、ラジオ等で読んだり見たり聞いたりしたこと
ありませんか
1 全くない(と思う) 9社
2 あったかもしれないが、定かな記憶はない 22社
3 イベントの名称だけは見聞きしたことがある 6社

問7 宮城県芸術協会の認知度を高めるため、最も重要な
取り組みは何だと思いますか
1 市民参加型事業の拡充を図り、一般市民の親近感とありがたみを増す 9社
2 メディアへの露出を増やし、存在や活動ぶりが市民に見えるようにする 38社
3 行政や企業との連携を進め、共催事業の拡大を図るなどアピールを強める 14社
4 体験イベントの企画・実施など工夫を重ねて、地道に理解を広げ深める 17社
5 その他(具体的に)2社:「企業とのコラボ」「全て最も重要」との回答

問8 皆さまの職場は芸術文化活動が盛んな方だと思いますか
1 盛んな方だろうと思う 10社
2 そうではないと思う 26社
3 比較する目安がなく、どちらとも判断できない 36社

問9 芸術文化に対する職場内の関心度はどの程度ですか
1 文化祭のような社内イベントを開催しており、社員らの関心は高いと思う 4社
2 個人の趣味にとどまり、芸術関連の動きで盛り上がることはほとんどない 29社
3 芸術分野の嗜好は個々ばらばらだが、音楽など身近で愛好家が多い特定のジャンルの話題で会話や弾むことはある 11社
4 芸術は好みの個人差が激しく、関心度を平均化して示すことは難しい 17社
5 一体化しやすい「スポーツ」などと異なり、「芸術」に対する興味・関心の広がりには個人やサークル的なグループ単位にほぼ限られ、一概には言えない 9社

問10 皆さまの会社は地域の芸術文化の振興・発展にどの
程度貢献されていますか
1 大いに貢献していると思う 7社
2 多少は貢献していると思う 31社
3 ほとんど貢献していないと思う 21社
4 分からない 11社

問11 問10で「(貢献している)」と答えた企業に伺い
ます) その内容をお答えください
1 企業のメセナ活動や通常の業務を通じて、芸術文化活動を支援している 23社
2 芸術系サークルの活動促進に努め、芸術文化熱の高まりを支えている 2社
3 その他(具体的に) 11社
※記述回答10社/「本社で貢献」「公募で彫刻コンクール開催、美術財団設立」「仙台クラシックフェスティバルに協賛」「授業の一環として参加」「絵画展等に特別協賛」「芸術活動に参加するため、勤務シフトを考慮」「本社に美術館併設」「メセナアワード2012(歴史をひとくち賞)を受賞」「ポスターを全社展開、入会促進の実施」など

問12 (問10で「ほとんど貢献していない」と答えた
企業に伺います) その主な理由は何ですか
1 関与・貢献に向けた活動のきっかけがなく、糸口も見いだせない 14社
2 振興・発展に関わることに明確なメリットを想定できない 2社
3 企業が担う役割を超えており、支援する使命や責任を考

えたこともない 3社
4 その他(具体的に「芸術振興に向かう文化がない」「支店に芸術活動に対する協賛等に関する権限がない」)2社

問13 宮城県芸術協会は「宮城の芸術文化の発展に寄与
する」ことを目的に県内の芸術家が結集する形で1964
年に創設、こし55年目を迎えています。半世紀の歴史
を刻み、宮城県や仙台市など7団体共催による宮城県芸術
祭をメインに、芸術分野の人材育成を含めて多様な事業を
展開しています。こうした当協会の存在をどのように受け
止められますか
1 芸術文化の振興に欠かせない存在で、もっと評価されていると思う 25社
2 詳しい活動の内容を知らないため、答えようがない 27社
3 ふだん意識したことがなく、初耳的な情報でもあり、分からない 18社

問14 芸術団体は個別の団体を会員とするのが一般的
で、芸術家個人で構成される宮城県芸術協会はユニークな
組織です。芸術文化の普及・促進とともに、新たな価値の
創造や芸術を次世代につなぐ活動にも励んでいます。こう
した取り組みについて、どのように思われますか
1 必要性は理解できるし、ありがたく意義の深い活動だと思える 50社
2 あまり関心がなく、それほど大きな価値を見いだしている 5社
3 芸術は数ある嗜好・趣味の一つととらえており、特段の思いはない 15社

問15 芸術文化の役割について、最も近い考えをお答え
ください
1 社会に欠かせぬ基盤の一つであり、豊かさのパラメーターともなる 18社
2 個人の暮らしに潤いと安定感を与えてくれる「心の栄養」と言える 31社
3 癒しと刺激の効果にあふれ、社会、個人ともにあすへの精神的活力を生む 11社
4 国、地域づくりとの関わりもあり、役割は確実に大きくなっている 11社
5 必ずしもなくて困るものではなく、重要度や評価は個人の価値観による 1社
6 深く考えたことがなく、よく分からない 0社

問16 東日本震災から7年半、復興はまだ途上で、人
の内面は見えにくいがゆえに状況はより深刻と言えます。
「心の復興」に向けて芸術文化の重要性が再認識されて
いるのもそのためと思われず。アートセラピー的な芸術文
化の役割について、どのようにお答えですか
1 震災復興で精神文化に関わる芸術の真骨頂を見せつけられたと思うが 5社
2 スポーツと芸術が両輪となり、困難に立ち向かう心の支えとなる 31社
3 普段、考えもしない芸術文化の価値の大きさに初めて気づかされた 12社
4 分からない 21社

問17 文化芸術は地域の魅力を高める要素で、「文化力」
は「地域力」とも言われ、人や企業を呼び込む効果も期待
されます。観光が象徴的で、芸術の都・バリが典型でしよ
うが、歴史的な芸術遺産に恵まれた宮都市にも通じそ
うですが、そうした見方をどのように思われますか
1 確かに、そう思う 59社
2 そうは思わない 0社
3 何とも言えない 9社
4 分からない 4社

問18 文化と歴史を生かしたまちづくりを進める金沢市
などは語客を念頭に置いた文化芸術振興施策を積極推進、
全国の注目を集めています。予算措置など宮城県や仙台市
など行政の対応をどのように評価されていますか
1 十分、責任を果たしていると思う 4社
2 音楽ホールなど文化施設の貧弱さを見ても、日配りが十分とは思えない 22社
3 財政事情が厳しく、優先すべき事業も多く、文化施設の拡充など芸術振興施策が後回しにされるのもやむを得ない 13社
4 確かな判断材料を持ち合わせておらず、分からない 32社

問19 皆さまの会社のメセナ活動(芸術文化支援)の現
状を教えてください
1 芸術文化関連事業の主催、後援など多様な形で積極的に対応している 10社
2 組織の身の丈を踏まえて、できる範囲で協力、支援している 34社
3 推進していたが、バブル崩壊や東日本震災を経て現在は抑えている 0社
4 必要性は理解しているが、経営環境が厳しさを増し対応が難しい状況だ 11社
5 行政等が対応すべき問題で、芸術文化振興を企業に頼るべきではない 0社
6 分からない 16社

問20 (問19で「積極的に対応している」「支援してい
る」と答えた企業に伺います) 主な理由は何ですか
1 「企業市民」としての社会貢献の一環として何の前向きに対応している 25社
2 企業イメージの向上、社員らの誇り、忠誠心の高まりを期待している 3社
3 芸術団体などとの付き合いを考慮し、何となく支援を続けている 4社
4 その他(具体的に) 0社

問21 (問19で「積極的に対応している」「支援してい
る」と答えた企業に伺います) 企業のメセナ活動が盛り上
がり、脚光を浴びた以前(バブル経済当時)と比べて、規模
(内容)はどうですか
1 拡大し、内容も多彩になっている 6社
2 縮小傾向にあるのは否めない 11社
3 特に大きな変化はない 16社

問22 職場内で芸術文化系のサークルのような組織・団
体はありますか。ある場合は具体的に記してください
1 ある(絵画や写真愛好会など具体的に) 11社
2 「吹奏楽部」「写真部」「書道部」種々あり「すずめ

踊り祭り連」「いけばな・音楽サークル」。4社は具体
名答えず
2 ない 35社
3 社として関知しないが、趣味活動のグループはあるかもしれぬ 17社
4 把握していない 9社

問23 (問22で「ある」と答えた企業に伺います) ど
のように受け止めていますか
1 社内職員の促進や結束力の強化につながる側面があり、活発化は好ましい 9社
2 芸術は人間の幅を広げ感性を磨く力となり、経営にもいい影響を与える 2社
3 組織化や運営を社員らの意思、対応に委ねており、深く考えたことはない 1社

問24 (問23で「好ましい」など1または2と答えた
企業に伺います) サークル活動の普及・促進に向けて取
り組まれていることはありますか
1 既に活動費を補助するなど、具体的な支援と環境整備に努めている 8社
2 スポーツ系の部やサークルとは異なり、福利厚生の捉え方はしておらず、明確な措置は講じていない 3社
3 経営状況を見定め今後、支援の方向を検討し方策を採ることはあり得る 2社

問25 (問22で「ない」など2〜4と答えた企業に伺い)
今後、どのように対応されるつもりですか
1 実現性は薄いですが、経営環境の変化などを踏まえ促進の可能性は排除しない 21社
2 個人が趣味として対応すべき事柄で、社として促す考えはない 22社
3 当面、経営の維持が最優先で、現実的な課題とは捉えていない 11社

問26 宮城県芸術協会は現在、12の幅広い芸術部門に
一定のレベルにある2100人を超える芸術家が所属し、創
作活動に励んでいます。会員の精力的な取り組みを支え、
宮城の芸術文化の普及・振興を図る上で、企業・団体とご
協力、ご支援が重要になります。今後、皆さまとの交流を
深め、連携を強めたいと考えていますが、どのよう
に受け止められますか
1 考え方は理解できる 39社
2 意義を見だしにくい 2社
3 協会側の見方、対応であり、特にそれに対する感想はない 10社
4 分からない 21社

問27 (問26で「理解できる」と答えた企業に伺いま
す) その理由はありますか
1 会員による指導や鑑賞機会の提供などは社員の福利厚生面の充実に役立つ 7社
2 文化熱の高まりを呼び、社員の感性を豊かにし発想力向上の契機ともなる 7社
3 企業との交流、連携の強化は事業推進の有力な手段で時代の潮流にも沿う 24社

問28 宮城県芸術協会は公益社団法人で、「公益性」を
活動のベースに置く民間団体です。正会員(個人)の会費
が主な財源ですが、財務・運営基盤の強化に向けて、企業
の皆さまに応援的な賛助会員(法人一口2万円、個人
1万円)への加入を呼び掛けている。どうすれば、賛助
会員の輪が広がり、皆さまとの連携や支援の強化につな
がると思いますか
1 会員らの職場訪問や謝恩コンサートといった事業を通じた会員による出席指導、鑑賞機会の提供など企業がメリットを感じられる方策を拡充する 13社
2 連携事業の創設などでイメージ向上や宣伝効果に対する期待感を高める 14社
3 芸術文化に目の向く活動の強化などを通じた着実な支援機運の醸成を図る 23社
4 入会のハードルを下げるため、会費の軽減などを幅広く検討する 8社
5 その他(具体的に) 7社
※記述回答5社「不明」「分からない」「支援の形は一つではない」「芸術協会の活動を広く宣伝する」「東北経済連等の呼び掛けがあれば検討しやすい」

問29 (賛助会員に加わってられない企業に伺います)
入会される可能性はありますか
1 可能性はある。ただし入会するだけの意義を確認する必要となる 7社
2 魅力的な催事や会員の講師派遣事業の企画、実施など特典の充実次第だ 3社
3 現状、可能性はない、もしくはほとんどない 29社
4 分からない 0社

問30 芸術文化の振興について、率直なご意見を聞か
せてください。アンケートへのご感想でも結構です。賛助
会員の皆さまは、宮城県芸術協会への要望なども併せてお
寄せください
「主体は本社であり、支店レベルでは活動を検討していない。ただ、チラシをいただければ積極的に社内掲示でPRしたい(建設)」「社会貢献活動の重要性は承知しているが、団体や活動の認知度が低く、参画しづらいと思う(製造)」「個々の組合員がそれぞれ立場で芸術の振興に寄与していますが、貴協会の活動は好ましく、何が役に立つことなのか、何ができるか、考えてみたいと思う(流通)」「仙台商工会議所等と関わって芸術に対する関心度を高くするといったことを考慮してみても、学校等、小中学生から鑑賞、参加させる企画はあるのでしょうか。小さい時から触れ合う機会を多くすれば、大人になっても関心を持つのではないかと(不動産)」「芸術文化を担う主体はあくまで個人であり、特定の団体、企業が組織として関わることには無理だと感じる(通信)

「主体は本社であり、支店レベルでは活動を検討していない。ただ、チラシをいただければ積極的に社内掲示でPRしたい(建設)」「社会貢献活動の重要性は承知しているが、団体や活動の認知度が低く、参画しづらいと思う(製造)」「個々の組合員がそれぞれ立場で芸術の振興に寄与していますが、貴協会の活動は好ましく、何が役に立つことなのか、何ができるか、考えてみたいと思う(流通)」「仙台商工会議所等と関わって芸術に対する関心度を高くするといったことを考慮してみても、学校等、小中学生から鑑賞、参加させる企画はあるのでしょうか。小さい時から触れ合う機会を多くすれば、大人になっても関心を持つのではないかと(不動産)」「芸術文化を担う主体はあくまで個人であり、特定の団体、企業が組織として関わることには無理だと感じる(通信)

【メモ】調査は昨年9〜11月に宮城県内の主な企業
236社を対象に実施。内訳は非賛助会員194社
(82.2%)、賛助会員42社(17.8%)。回答は72社(回
答率30.5%)で非賛助59社(30.4%)、賛助13
社(31.0%)。回答に占める非賛助、賛助の比率は
非賛助81.9%、賛助18.1%。設問によっては複数
回答や自由回答、対象外の回答、未回答などがある。

初夏の訪れ、風流に
今年も杜の都に茶の季節

当協会と河北新報社が主催する「第23回杜の都大茶会」が5月25日(土)と26日(日)の2日間、仙台市青葉区の勾当台公園で開催される。雨天決行。

今回は当協会茶道部加盟の12流派が参加。公園内に設営したテント内に、それぞれ趣向を凝らした茶席をしつらえ、お点前を披露し、市民らをもてなす。

茶席券は前売り(2席券)が1200円、当日券が1席券700円、2席券1400円。

「茶の世界」を気軽に楽しんでもらうため、今年も26日、無料体験コーナーを設ける。

流派ごとの日程は次の通り。
【25日】煎茶文雅静庵流、玉川遠州流、大日本茶道学会、表千家、煎茶道三彩流、武者小路千家、裏千家

【26日】江戸千家、遠州流茶道、織田流煎茶道、石州清水流、宗流、表千家

文学散歩
今年も秋田県へ

本年度の文学散歩は10月2日(水)、3日(木)の2日間の日程で実施される。テーマは「秋田の風土と文人探訪」で秋田市、横手市、湯沢市、美郷町、羽後町などを訪ねる。

主な見学場所は(1日目)「美郷町六郷湧水群」、「秋田文学資料館」、「秋田県立博物館・旧奈良家」、「秋田県立美術館」、「2日目」秋田市立中央図書館(石川達三記念室)、「横手まんが美術館」、「西馬音内益踊り会館」。

宿泊は秋田温泉さとみ(秋田市添川)、参加費用は29000円で募集は40人。会員以外の友人や知人からも誘い合わせ多数の参加を期待している。

会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、2019年度会費の納入をお願い致します。
自動振替の会員は、今年5月7日(火)に引き落としを行いましたので、指定口座をご確認ください。
郵便振替をご利用の会員は、同封の振替用紙で5月31

日(金)までに納入願います。なお、現在郵便振替をご利用の方は、事務処理上の都合により、できる限り自動振替(手数料は芸協が負担致します)への切り替えをお願い致します。手続きにつきましては、事務局にご相談ください。

私達は芸術協会を応援します
新賛助会員

- (団体)
◇一般社団法人仙台市医師会 会長 永井 幸夫 様
(個人)
◇千葉 英司 様
◇千葉 昭吾 様

事務局日誌

会務報告

- 【第5回理事会】3月15日
・2019年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
・正会員の入会承認について
・賛助会員の推薦について

- ☆第65回全国公募東北書道展 5月17日
☆第41回全国絵画展2019 5月10日
☆第49回宮城書芸院書展 5月15日
☆第54回チャールズ会仙台展 7月12日
☆仙台市戦災復興記念館 第5回二科東北支部連合展 6月21日
☆第8回全国やきものフェア inみやぎ 7月11日
☆第54回チャールズ会仙台展 7月12日
☆仙台市戦災復興記念館 第5回二科東北支部連合展 6月21日
☆第8回全国やきものフェア inみやぎ 7月11日
☆第54回チャールズ会仙台展 7月12日

会員の入賞・入選など

- ◇第43回新芸術展
▽東京都都知事賞 山並進
◇明日をひらく絵画第37回上野の森美術館大賞展
▽入選 佐藤光郎
◇2018年国際美術評論家選考委員会賞 菅原慶子

受贈書

- 「佐藤光郎Ⅱ」(佐藤光郎)、みちのく国定公園 栗駒山讃歌 大自 然の息吹(佐藤貢)

謹 弔

絵画部(洋画)	山岸俊夫 殿
工芸部(金工)	種澤節鴻 殿
	2月10日
	3月13日

けやきの譜

「令和」の改元に伴う10連休という、かつてないゴールデンウィークが終わった。元号は変わった。が、どこも変わらない日常へ戻ることにほっとしている。普段と異なる日々は、徒らに人を疲れさせる。同時に、平凡な日と日の連続がどれほど有難いか、改めて思い知らされる。「杜の都」は、緑の色を濃くしていく。かつて仙台の城下には、城近くに数百坪を超える大きな武家屋敷が、そしてそれらより小さな足軽屋敷などがあり、城下の八割は武家屋敷であったという。これらの屋敷には多くの植林がなされており、これが杜の都の原風景を形成していた。その時代からこの街を見つめてきた木が、西公園の交番そばの銀杏の大木だ。緑はこころを癒す大切な風景だ。雨の季節がやってくる。紫陽花が美しい。北山五山の資福寺が知られているが、茂ヶ崎の野草園では紫陽花のほか多くの花を楽しむことができる。長く野草園に関わった菅野邦夫名誉園長の「花には見る方向があるんですよ」という言葉が思い出される。

(英)